

# 文化飛翔

報告～平成23年度の取組～

よこがお～会員紹介～

トピックス&インフォメーション

リレーエッセイ文化の小径

2011  
秋号  
Vol. 9



# 報告

## 平成二十三年度の取組

今年で五年目を迎えた山口県文化連盟。今年度も、当連盟の持つネットワークや人材、ノウハウを生かし、県や市町等と協力しながら、山口県総合芸術文化祭の開催や地域の文化芸術活動をサポートする事業など、山口県の文化力の向上に取り組んでまいります。

### ■理事会及び総会を開催



平成二十三年度理事会及び総会を五月三十一日(火)にホテルニュータナカ(山口市)で開催し、平成二十二年事業報告及び収支決算、平成二十三年事業計画及び収支予算などが承認されました。

### 平成22年度収支決算

収入の部 (単位: 円)		支出の部 (単位: 円)	
項目	決算額	項目	決算額
<b>一般会計</b>		<b>一般会計</b>	
会費(正会員70団体、賛助会員70口)	725,000	交流事業費(パーティ関連)	0
寄付金	2,000	広報事業費(会報制作費)	421,620
雑収入(利息等)	44	人材派遣事業費	38,615
前期繰越金	92,887	管理運営費	238,433
計	819,931	予備費	0
<b>特別会計</b>		<b>特別会計</b>	
県総合芸術文化祭委託料	20,750,000	次期繰越金	121,263
計	20,750,000	計	819,931
<b>合計</b>	<b>21,569,931</b>	<b>合計</b>	<b>21,569,931</b>

### 平成23年度収支予算

収入の部 (単位: 円)		支出の部 (単位: 円)	
項目	予算額	項目	予算額
<b>一般会計</b>		<b>一般会計</b>	
会費(正会員67団体、賛助会員108口)	875,000	交流事業費(パーティ関連)	50,000
雑収入(利息等)	3,737	広報事業費(会報制作費)	500,000
前期繰越金	121,263	人材派遣事業費	150,000
計	1,000,000	管理運営費	250,000
<b>特別会計</b>		<b>特別会計</b>	
県総合芸術文化祭実行委員会負担金	10,000,000	予備費	50,000
計	10,000,000	計	1,000,000
<b>合計</b>	<b>11,000,000</b>	<b>合計</b>	<b>11,000,000</b>

◇平成二十二年事業報告及び収支決算  
平成二十二年事業として実施した、会報の発行、地域の文化芸術活動支援事業(講師の派遣)等(一般会計事業)、第四回山口県総合芸術文化祭事業(特別会計事業)について承認を受けました。

◇平成二十三年事業計画及び収支予算  
事業計画として、会報の発行、地域の文化芸術活動支援事業(講師の派遣)等(一般会計事業)、第五回山口県総合芸術文化祭分野別フェスティバル事業(特別会計事業)の実施が決定されました。

◇監事の辞任・選任について  
松原清監事が辞任され、後任の監事として、末貞収一氏(公益財団法人山口市文化振興財団常務理事)が選任されました。

◇正会員の新規入会について  
下関市の下関市文化連合会が新たに入会され、当連盟の正会員は計六十七団体となりました。



■文化交流パーティーを開催  
総会終了後、当連盟の会員と本県の文

化芸術の振興発展に御貢献をいただいている方々が一堂に会し、文化芸術の愛好家の輪を広げるため、恒例の「文化交流パーティー」を開催しました。  
オープニングでは、「おごおり文化協会邦楽部門」の皆様、「アメイジンググレイス」と「惜春(せきしゅん)」を披露していただき、箏と尺八の醸し出す優美な音色でパーティーがはじま



### 講師(指導者)の紹介・派遣

当連盟では、平成二十年度から、県内各地域で行われる各種文化教室、学校での部活動等で実技指導などを行う講師(指導者)を紹介・派遣し、地域の文化芸術活動をサポートする事業を行っています。  
地域の文化芸術活動では、専門家による指導を必要としている場合が多く、本事業に取り組む意義を改めて感じています。  
こうした地域や学校等のニーズに添えていくためには、講師(指導者)陣を一層充実させていく必要がありますので、会員の皆様の積極的な登録をお願いします。

### ◆実施の流れ

- ①申込み(利用者) ↓ ②講師紹介(事務局) ↓ ③打合せ(講師・利用者) ↓ ④実技指導・講座等実施

### ◆経費負担

- 山口県文化連盟の負担で、一回の指導につき交通費相当額(2000円)(税額控除後)を支給
- 申請者(利用者)に謝金、交通費の支給は求めない。
- お花やお菓子などの材料費は申請者(利用者)の負担

### ◆講師(指導者)の要件

- 山口県文化連盟に加盟する団体(正会員)に所属すること。
- 地域や学校等の文化芸術活動において実技指導・講義などを行えること。

### ◆お問い合せ先

山口県文化連盟  
083-1933-2610

参加された皆さんは、和気あいあいと語り合ったり情報交換をされたり、あるいは一緒に記念写真を撮られるなど、賑やかで盛大なパーティーとなりました。  
会場には、東日本震災義援金箱を設置し、集まった義援金は、日本赤十字社を通じて寄付いたしました。

# 第5回山口県総合芸術文化祭

五回目を迎えました『山口県総合芸術文化祭』！

今年も、県内各地で音楽や演劇、文芸やいけばななど、さまざまなイベントを開催しています。

いよいよ十一月には、山口県総合芸術文化祭のシンボルイベントである『メインフェスティバル』を山口市で開催します。

文化芸術の秋、山口県の文化に触れて、心に栄養と元気を補給するよい機会です。ぜひ、周りの方々にお声がけください。

## メインフェスティバル

開催日：十一月二十日(日)

14:00開演

(13:30開場)

場所：山口市市民会館大ホール

入場無料・要入場整理券

「音楽でつなぐ未来への架け橋」と題して、山口県内で活動するさまざまな音楽団体と県出身のプロアーティストを交え、総勢二百七十人の出演者により、合唱あり♪吹奏楽あり♪邦楽あり♪の音楽空間をクリエイトします。

心にしみる懐かしの曲からAKB48まで、美しい歌声や極上の音色と響きでお贈りする幅広いジャンルの数々の名曲にご期待ください！

### 第一部

やまぐちを代表する音楽家たち

ディズニー映画音楽メドレー／  
シャコンヌ／無伴奏ヴァイオリン  
のためのパルティータ第二番より  
／オ・ソレレ・ミオほか

### 第二部

明治維新百五十年祭に向けて

二〇一八年に百五十年を迎えるにあたって、明治維新から今日にかけて、心に残る名曲から現代のヒット曲まで数々の曲目でお贈りします。

荒城の月／ふるさとの四季／この道／サウンドオブミュージック  
／雪の降るまちを／ビートルズメドレー／少年時代／AKB48メドレーほか

### 第三部

未来へ〜東日本大震災からの復興を祈念して

一日も早い復興を願って、勇気と希望、そして元気をステージから多くの方々に届けます。

Story／上を向いて歩こう／  
ジュピターほか

### 出演者

ヴァイオリン

上野 美 科

テノール

中井 亮 一

合唱

混声：大内中学校合唱団

萩高等学校合唱部

野田学園高等学校合唱部

女声：こころ・ソアーヴェ

女声合唱とおんきごう

ララ アンサンブル

吹奏楽

上郷小学校吹奏楽部

岩国商業高等学校吹奏楽部

邦楽

山口現代邦楽集団

邦楽グループ「音のわ」



#### 【入場整理券の応募方法】

- ・希望人数（1通につき2名以内）、郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入し、はがき又はインターネットでお申込みください。
- ・希望人数の記入のない場合は、1名分とさせていただきます。
- ・車椅子のご利用を希望される方は、その旨を併せてご記入ください。

#### 【応募・問い合わせ先】

山口県総合芸術文化祭実行委員会  
〒753-8501 山口市滝町1-1  
山口県文化振興課内

☎ 083-933-2610

FAX 083-933-4829

URL <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a19300/festa/index.html>

携帯サイトはこちら▼



#### 【募集期間】

10月7日(金)～11月4日(金) 消印有効

#### 【当選の発表】

11月中旬。発表は入場整理券の発送をもって代えさせていただきます。なお、応募者多数の場合は抽選になります。（当選されなかった方への連絡はいたしませんので、あらかじめご了承ください。）

このコーナーでは山口県文化連盟の会員の皆さんを紹介しています。

### 下松市文化協会

会長 福永 城恵  
〒744-8585  
下松市大手町3-3-3  
(下松市教育委員会社会教育課内)  
☎0833-45-1870

下松市文化協会は、組織的な文化活動の推進により、市民文化の向上を図ることを目的として、県下で最も早い昭和二十六年十一月三日の文化の日に発足しました。

現在、美術、文芸、音楽、邦楽、謡曲、日舞、園芸、茶華道、詩吟、バレエの十連盟六十六団体で構成し、約千五百名の会員が日々研鑽を重ねながら活動しています。

主な活動としては、連盟ごとに開催される市民文化祭や展示会・発表会、(助)下松市文化振興財団との共催事業「文化ジョイント」、功労者表彰事業等があります。市民文化祭や展示会・発表会では、広く一般市民に芸術文化に触れていただく機会を提供するため「体験学習」を実施しています。さらに、当協会には、文化振興会として「女性部」



が組織しており、文化講演会や芸術文化発表会「花月」の開催等、地道な活動を展開しています。本年、当協会は記念すべき創立六十周年を迎え、十一月には記念式典を開催する予定にしております。先達の築いた大きな礎に感謝しつつ、会員相互にその喜びを共有したいと思えます。また、これを契機として、会員相互の連携をより深め、今後の下松市の芸術文化の振興と発展に更に尽力していききたいと考えています。

### 山陽小野田市文化協会

会長 中村 克衛  
〒757-0002  
山陽小野田市大字郡1754  
☎0836-71-1000

山陽小野田市文化協会は、平成十七年に旧小野田市と旧山陽町の合併に伴い、両市町にあった文化協会を統合して発足いたしました。

昨年度までは、市役所の教育委員会が事務局を担当していましたが、今年度より文化協会が自主運営することになりましたので、試行錯誤している状況です。

現在の会員は個人会員四百九十名、賛助会員二十一団体、団体会員百六十五団体です。

活動内容は、「山陽小野田市文化協会だより」を年一回発行し、各団体の活動状況や自主事業の報告を行い、市民への文化情報の発信に努めております。また、山陽小野田市文化祭等に参加される団体の助成金やプログラム制作を行い、市役所と共に各団体への支援をしております。

特に、自主文化事業である個人会員限定の「文化バス」は人気があり、八月十八日に福岡の博多座で開催された、宝塚星組の公演に会員四十三名とともに行って参りました。参加された皆さんは宝塚ジェンヌの素晴らしいダンスと演出に大満足の日でした。十一月には福岡市美術館で開催される「北京故宫博物院展」に行く予定にしております。

山陽小野田市文化協会は独り立ちしたばかりですが、会員の皆様への支援と山陽小野田市の芸術文化の更なる発展に努めたいと考えております。



### 平生町文化協会

会長 松場 義人  
〒742-1102  
平生町大字平生村178  
平生町中央公民館内  
☎08220-56-5320

平生町文化協会は、昭和四十六年四月に設立され、現在四十二年目を迎えています。その目的は、町内各団体の連絡、協調を図り文化団体の育成と融和につとめ、町民文化の向上と振興を図ることです。

現在、十四団体が加入しています。加入団体は、ちぎり絵・書道・いけばな・手芸・俳句・油絵・水墨画・茶道など様々な分野の団体で、平素は、それぞれの分野で活動し、文化芸術の振興に努めています。

主な活動としては、毎年十一月に開催される総合文化展と研修視察です。一つ目の活動の総合文化展は、町武道館で二日間にあわって開催し、今年度で四十三回目を迎える伝統ある展示会です。会員の日頃の活動成果の発表の場であり、平生町の芸術文化を発信する絶好の場となっております。地元小中学生の作品展示、地域の方の自由作品展示の場もあり、毎年盛大に開催しています。

また、文化展初日には、会の発展に寄与された方々、県展等で広く認められた方々に表彰を行っております。昨年度は、合わせて八名の方々に表彰しました。二つ目の活動の研修視察は、毎年、大型バスを借り上げ、県内外の施設を視察しています。昨年は、周南市の回天記念館や尾崎正章記念館を視察し、平和の大切さを改めて感じました。

目下の課題は、会員の高齢化による団体数・会員数の減少です。生涯学習の多様化が進む中で、一人が一人を誘い込む活動を推し進め、課題の解決を目指しているところです。これからは、会員同士、また、他団体とも連携を図りながら、平生町の芸術文化向上と発展に努めていききたいと考えております。



## やまぐち連句会

会長 諏訪 欣二

〒746-0025

周南市古市2-3-43

☎0834-62-1400



当会は、「国民文化祭やまぐち二〇〇六」の公募事業で連句大会を開催したのを契機に発足しました。連句は、平安期からの連歌や江戸期からの俳諧の流れをくんだ伝統ある日本唯一のコミュニケーション・シジョン芸文なので、その認知度は全国的にみても低いのが現状です。なので当会の活動の一步は常に「連句とは何か？」の解説から始まります。「前の句を受けてあとの句を付ける。五・七・五（長句）には七・七（短句）を、短句には長句を、前句から自分が感じるものや思いつくことなどを自由な発想と即興のセッション感覚で気楽に連々と人と人が付け合っていくのです」等々の説明を経てのちに「連句しませんか」の合言葉のもとで各地域での連句初心者体験会やその後の定例連句実作会の実施に至ります。

そうした中で現在、最も有効なのが県総合芸術文化祭・分野別フェスティバルの取り組みです。国文祭連句を皮切りに、全国各地の連句愛好家にも加わって頂いて、岩国、防府、下関、山口、萩の各市で実施してきたところですが、この催しは、県内各地域を巡回しながら連句の普及活動や連句会づくりにも取り組める誠に有難いものになっています。これを着実に積み上げながら、広島・福岡・大分等の近隣各県の連句団体との交流も深め、広域連句連合体を形成するなどして、さらなる普及や定着にも努めているところです。

所属団体 十団体／所属会員 百五十名

## 山口県和太鼓連盟

代表 野村 浩昭

〒753-0056

山口市湯田温泉4-6-4

西の雅常盤内

☎083-922-0091

本会は、本年創立十五周年を迎えます。現在加盟数は十五団体、構成員数は二百五十名となっており、全県的な和太鼓関係者の連合組織となつていきます。

主要な事業は「山口県和太鼓の祭典」の開催で、本年度第十回目の記念大会を、山口県文化連盟の御助成を賜り、十二月十一日に岩国市玖珂町（こどもの館）で開催する予定となっております。

「山口県和太鼓の祭典」は、年に一回、本会加盟団体はもとより、県内の和太鼓団体等の相互の親睦を深めるとともに、山口県における和太鼓活動の発展に資することを目的として開催するものです。開催に際しては、和太鼓活動の未来を背負う子どもたちにより組織された和太鼓関係団体の参加もすすめており、本会の目的である「山口県内に存在する和太鼓グループ相互の親睦と技術研鑽、更に後継者の育成をもつて、日本伝統芸術である和太鼓の正しい伝承と振興を図ることによって、地域文化の発展に寄与すること」の実現にもつなげることができるよう努めております。私どもと致しましては、「山口県和太鼓の祭典」



以外にも和太鼓の活動を通じた様々な活動を行い、私どもの社会的な責任を果たしていくよう努めて参りたいと考えておりますので、県民の皆様方の御理解・御支援を引き続き賜りますようお願いいたします。

## (財)周南市文化振興財団

理事長 木村健一郎

〒745-0874

周南市徳山5854-41

☎0834-22-8787

周南市文化振興財団は、周南市市民館（昭和三十一年開館）周南市文化会館（昭和五十八年開館）周南市美術博物館（平成七年開館）、周南市郷土美術資料館（平成七年開館）四館の管理運営を、指定管理者として周南市から受託しています。市民館は生活に密着した身近な施設として多くの方々に利用され、文化教室会場など芸術活動の場ともなっています。

文化会館は最大千八百人を収容するホールを生かし、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能など幅広く多彩な舞台芸術を紹介する一方、地域のアーティストが市内各所へ芸術を届ける「移動文化教室」を実施、二十八年の歴史を重ねています。

美術博物館は、開館以来登録博物館として活動を続け、貴重な資料を収蔵、展示しています。常設展示室では郷土ゆかりの芸術や歴史を紹介し、企画展示室では年三回を基準に、質の高い展覧会を開催しています。またワークショップや講演会など、展覧会以外の事業も実施しています。

郷土美術資料館は、より身近な美術館として、郷土出身の洋画家・尾崎正章の作品を紹介し、企画展示室では地元作家をピックアップし、展覧会を開催しています。

今回紹介したのはごく一部です。指定管理という厳しい環境の中ですが、財団設立以来三十年間培ってきた実績と経験、多くの方々を支援を財団に、職員一丸となつて、地域文化の振興と醸成を目的に、今後も活動を続けていきます。



郷土美術資料館



美術博物館



文化会館



市民館

# 注 山口県からの お知らせ

県ホームページ「文化情報やまぐち」  
で文化芸術のイベント・募集案内をPR  
しませんか？

県では、ホームページ「文化情報やまぐち」を  
通じて、県内で実施される文化芸術に関するイ  
ベント等の情報を県民の皆様提供しています。  
貴団体・施設が実施するイベントや募集案内等  
を県ホームページ「文化情報やまぐち」に掲載し、  
PRしませんか？

## 主なコンテンツ

### ○掲載する情報

貴団体・施設が主催・共催、または実行委員会  
に参画する文化芸術に関するイベントや、作品・  
参加者の募集案内に関する情報

### ○掲載情報の提出方法

県所定の様式に必要事項を記入して山口県文化  
振興課へFAX、メールまたは郵便で、事業の内  
容が決まり次第、随時提出してください。

\*様式の代わりにチラシや開催要項等の既存の  
資料や、様式以外の任意の様式でも構いません。

### 提出先

山口県文化振興課地域文化班

(〒753-8501 山口市滝町1-1)

FAX: 083-933-4829

E-mail: a19300@pref.yamaguchi.lg.jp

■山口県の文化芸術情報満載のホームページ「文化情報やまぐち」  
のアドレス

<http://bunka.pref.yamaguchi.lg.jp/bunka/>

※「Google」、「Yahoo!」等で  で検索  
すると、簡単にアクセスできます。

ホームページ「文化情報やまぐち」では、直接、イベント・募  
集を投稿することができます。こちらの機能も是非ご利用ください。



お問い合わせ先

山口県環境生活部文化振興課地域文化班

TEL: 083-933-2610

E-mail: a19300@pref.yamaguchi.lg.jp

## 平成二十三年度 春の文化・芸術関係表彰者 の皆さん

■山口県芸術文化振興奨励賞

白石 貴房 (美術/陶芸)  
上野 美科 (音楽/器楽)

# 文化プログラム開催中！



おいでませ！山口国体  
おいでませ！山口大会

## 文化プログラム事業

4月から、県内各地で文化プログラムと  
して様々なイベントが開催されています。  
両大会の競技ともども、ぜひご覧ください。

### 文化プログラムとは？



「おいでませ！山口国体」「おいでませ！山口大会」に芸  
術・文化を通じて参加することにより、県民  
総参加の大会を目指し、山口県の豊かな自然  
や風土、歴史にはぐくまれた芸術・文化を全  
国に発信するとともに、本県の芸術・文化の  
振興を図るため実施するものです。

●最新情報はウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.choruru.pref.yamaguchi.lg.jp/kokutai/bunka/>

文化芸術活動に対する各種支援情報をご紹介します。  
\*募集中のものや近く募集が予定されているものなどを掲載しています。

### 公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団が行う助成事業について

#### I 平成二十四年度三菱UFJ信託地域文化財団助成事業

##### ○対象者

国内の団体が日本国内で行う地域文化振興に寄与し、文化・芸術的に優れた公演・展覧会等

##### ○対象事業

\*音楽部門……地域で音楽文化の向上発展のため活動しているアマチュアの音楽団体の公演

\*美術展部門……各地の美術館等が地域の人々に優れた美術品の鑑賞の機会を提供する展示活動等

\*演劇部門……地域で継続的に活動しているアマチュアの演劇団体の公演

\*伝統芸能部門……各地の伝統芸能の伝承と保存、後継者の育成を図るための公演

※平成二十四年四月一日から平成二十五年三月三十一日まで開催もしくは会期が開始する事業が対象です。

##### ○助成金額

一件当たり二十万円から五十万円程度

#### II 募集期間等

##### ○募集期間

募集中より十一月三十日(消印有効)

##### ○申込方法

当財団所定の様式の助成申請書に必要事項を記入の上、当財団事務局に提出。

※申請があつた事業がすべて助成されるとは限りません。

#### III お問い合わせ先

三菱UFJ信託地域文化財団事務局

〒103-0027

東京都中央区日本橋2-2-4

日本橋ビル

ホームページ

<http://www.mut-tikibunkazaidan.or.jp/>

### 財団法人西京教育文化振興財団が行う助成事業について

#### I 平成二十三年西京教育文化振興財団助成事業

##### ○対象者

県内で教育、スポーツの振興、芸術文化の向上のための諸事業を実施し、著しい成果をみせ、他の模範とするに足る学校、団体等

##### ○対象事業

教育、スポーツの振興、芸術文化の向上のための諸事業

##### ○助成金額 財団任意

#### II 募集期間等

##### ○募集期間

募集中より十一月三十日(消印有効)

##### ○申込方法

当財団所定の様式の申請書に必要事項を記入の上、当財団事務局に提出。

※申請があつた事業がすべて助成されるとは限りません。

#### III お問い合わせ先

西京教育文化振興財団事務局

〒745-0015

周南市平和通1丁目10番の2

西京銀行内

ホームページ

<http://Sec.fip/> (若しくは、<http://www.Sec.fip/>)

### 公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財団が行う文化活動支援事業について

#### I 平成二十四年度エネルギー文化・スポーツ財団助成事業

##### ○対象者

中国地域に所在する文化・スポーツに関する団体

##### ○対象事業

美術の展示活動、音楽の公演活動及び伝統文化の保存・伝承・復活・復元・発表活動であつて、中国地域在住者が過半数を占め中国地域内において行われる活動

※平成二十四年四月一日から平成二十五年三月三十一日までに行われる事業が対象です。

##### ○助成金額

助成対象経費の二分の一を限度

(原則十万一五十万円/一件)

#### II 募集期間等

##### ○募集期間

平成二十三年十月一日より十一月二十日

##### ○申込方法

当財団所定の様式の申込書に必要事項を記入の上、県(文化振興課、社会教育・文化財課又は学校安全・体育課)又は当財団事務局に提出。

※申請があつた事業がすべて助成されるとは限りません。

#### III お問い合わせ先

エネルギー文化・スポーツ財団事務局

〒730-0041

広島市中区小町4-33 中国電力内

ホームページ

<http://www.gr.energy.co.jp/bunspo/>

### 一般財団法人山口県文化振興財団が行う支援事業について(予定)

#### I 平成二十四年度「地域文化活動支援事業」「郷土文化活動支援事業」

##### ○対象者

山口県内で主に活動する民間団体等

##### ○対象事業

・山口県内において行われる地域文化活動  
・山口県内における特色ある郷土文化を保存・伝承するための活動

※平成二十四年四月一日から平成二十五年三月三十一日までに行われる事業が対象です。

#### II 募集期間等

##### ○募集期間

平成二十三年十二月中旬より平成二十四年一月中旬(予定)

#### III お問い合わせ先

山口県文化振興財団事務局

〒753-8501

山口市滝町1-1

山口県文化振興課内

ホームページ

<http://www.y-bunshin.jp/>

リレーエッセイ

# 文化の小徑

## チャリティーコンサート



山口県交響楽団 団長 祥男 神代

三月十一日十四時四十六分に発生した大地震はマグニチュード九・〇というところで、予想を遙かに上回る津波が起こり、このために福島第一原子力発電所が被災するという事態が生じ、「東日本大震災」という名称が付けられました。

五ヶ月を経過する八月になっても死者・行方不明者が二万人を超え、避難を余儀なくされた人達も八万人を超えるという状態になっています。

この惨禍は、明治維新だとか太平洋戦争が終結した時と対比しても遜色がないものでした。私どもと直接・間接に関係があるオーケストラの世界でも被害が発生しました。震源に近い仙台市を本拠地とする「仙台フィルハーモニー」がそれです。

このオーケストラの常任指揮者山下一史さんの寄稿

が三月二十二日の日本経済新聞の文化欄に「音楽の出番を待つ」という見出しで掲載されました。

地震の当日は十九時から仙台市青葉区の青年文化センターで演奏会が予定されており、そのリハーサルのために十五時に集合がかかっていました。その十四分前に地震に遭遇したことになります。(この青年文化センターは仙台フィルの活動拠点です)

この記事を読んで、私どもの「山口県交響楽団」としても何らかの支援をすることは出来ないだろうかと事務局と相談しました。その結果、六月二十六日(日曜日)午後、山陽小野田市文化会館のご協力を得てチャリティーコンサートを開催する運びとなりました。聴衆は二百名程度でしたが、地元の白井市長も駆け付けて下さいました。冒頭

でバッハの「G線上のアリア」を演奏しました。後日、小沢征爾さんが東北地方のジュニアの指導をされた際にもこの曲を取り上げましたし、別の雑誌にも「献奏」と表現していました。この演奏会での演奏曲は団が学校を巡回する際の曲目を中心としたものでした。

聴衆と団員の拠出金を合わせた「義援金」の半額は「日本赤十字社」に委託し、半額は「仙台フィル」に直接送金しました。

形としてはささやかなチャリティーコンサートでしたが、聴衆の皆さんと団員の方々のご厚志で目的が果たせたと思っています。後日、仙台フィルから礼状が来ました。その一節に「音楽には癒しと再生の大きな力がある…」とありました。今後ともお互いに精進して行きたいものです。

## 賛助会員の皆様

平成二十三年四月から九月までに御入会いただいた賛助会員の皆様です。

●個人(敬称略・順不同)

●団体(敬称略・順不同)

## 賛助会員を募集しています

山口県文化連盟の活動に御協力いただける賛助会員(個人又は団体)を広く募集しています。

年会費 1口5,000円

- \*賛助会員の皆様には、会報、その他文化情報誌をお届けします。
- \*入会受付は随時しておりますが、会員期間は入会日からその事業年度の3月31日までとさせていただきます。

### 申込方法

所定の入会申込書兼振込書にて年会費のお振り込みをお願いします。

詳しくは、山口県文化連盟事務局までお問い合わせください。

編集後記

文化の秋、スポーツの秋、食欲の秋…がやってまいりました。

「スポーツの秋」と言えば、今、「おいでませ!山口国体・山口大会」が開催されています。

会員の皆様におかれましても、文化プログラムへの参加や、県内選手団の応援など、色々な形で、半世紀に一度のこの『スポーツの祭典』に参加されてみてはいかがでしょうか。